

て植物地理學上中部支那要素の存在は注目すべきであると云ふが、かゝる地方に於る前原氏の二十年間の努力は幾多の新植物、新事實の發見を以てし、學界に貢獻せる所は頗る多く、本書に於ても亦新に公表された植物は十數種に達してゐる。

こゝに特筆すべきは、前原氏が極く普通の植物といへどもこれを完全無缺比類なき好標本に製して専門家の鑑定を仰がれた爲に、主なるものはすべて京大又は東大の腊葉庫に保存されてゐることである。かくしてこそ始めて本書は其の正確さを將來にも期し得らるゝのである。

とにかく本書は地方植物誌の模範ともすべきもので、九州、四國、紀州等本邦暖地は言ふまでもなく、其の他の地方の研究者にも好指針となることは疑はない。

(發行所 熊本縣人吉町字寺町十九 前原勳次郎 定價貳圓 郵税六錢) (田川基二)

**シャーフ氏：タウコギ屬の研究** (EARL EDWARD SHERFF: Studies in the Genus *Bidens*. X. in the Botanical Gazette vol. XCIII. 1932 April. p. 212.)

シャーフ氏は今後出版さるべき同氏のタウコギ屬の Monograph の豫報として現在知られてゐる二百八種を十四の節に分類した。

#### 第一節 *Campylotheca* (CASS.) NUTT.

通常成育すれば灌木となるいつも平滑で汁には人參の香が多少ある頭花は大抵多數で舌狀花がある瘦果はまつすぐな事もあればねぢれてゐる事もある大抵二つの刺があり刺には通常下向のひつかゝりがある。太平洋の島の植物 Type は *B. micrantha* GAUD. 四十八種がこれに入る。

#### 第二節 *Degeneria* 新節

生殖部特に花柱はとても長くひどく抜け出してゐる Type は *B. cosmoides* (GRAY) SHERFF. で屬するのはこの種だけである。

#### 第三節 *Neurophyllum* 新節

多年生草木地について延びて行く葉は厚くなつて脈が目立つ Type は *B. clarendonensis* BRITT. で屬するのはこの種だけである。

#### 第四節 *Colmtonia* 新節

灌木葉は楕圓形鋭尖頭並びに Type なる *B. monticola* POEPP. & ENDLICH. の特徴を有す屬するものはこの種だけである。

#### 第五節 *Greenmania* SHERFF.

熱帶亞米利加に産する多年生草木、普通は攀緣、莖の長さは五乃至十米頭花は多數

June, 1932.

211

正常は舌状花で瘦果は細長く扁平で側部平行しいつもひどく剛毛あり先端には通常二刺あつて刺は常に長く下向のひつかゝりある事もあればない事もある Type は *B. rubifolia* H. B. K. 十種あり、

#### 第六節 *Selvorngea* 新節

多年生草木にして平滑葉は無柄で二列對生し質硬く杓子形をなし鋸齒がある並びに Type なる *B. graveolens* MART. の性質を有す。

#### 第七節 *Fulsotsia* 新節

莖はなめらかでほとんど裸である葉は3—4對小さくて無柄線形をなし分裂しない並びに Type なる *B. fistulosa* SCHZ. の特徴を有す。屬するものは本種一つ。

#### 第八節 *Heterodonia* (NUTT.) 新組合

北亞米利加植物葉は大抵單葉で頭花は筒状花のみか或ひは少しばかり舌状花あり形は圓筒形或ひは橢圓形瘦果は扁平で細長い楔形をしてゐる Type *B. bidentoides* BRITT. これに屬するは *B. eatonii* FERN. とで二つ。

#### 第九節 *Meduseae* (NUTT.) 新組合

北亞米利加植物葉は大抵は羽状稀に單葉の事や二回羽状の事がある 頭花は舌状花を具へ黄色である瘦果は扁平、線状楔形の事もあれば倒卵状楔形の事もあるよく縁がふくれ尙多少小瘤がある刺はない事もあれば又二刺あつて刺には屢々上向のひつかゝりを着けてゐる事がある Type は *B. polylepis* BLAKE この節には *B. aristosa* BRITT., *B. coronata* BRITT., *B. mitis* SHERFF., *B. oerstediana* SHERFF. が屬す。

#### 第十節 *Platycarpaea* DC.

葉は單葉か或ひは羽状に3—7深裂する (稀に2—3羽状全裂) 瘦果は卵形又は倒卵状楔形扁平又は上部の方に行くに従つて四角となる Type は *B. tripartita* L (タウコギ邦産) で *B. radiata* THUILL. (エゾノタウコギ邦産) など十二種が入る。

#### 第十一節 *Psilocarpaea* DC.

姿のひどく色々ある植物群で一年生のこともあれば多年生の事もあり草木のも灌木のもある葉は單葉又は數回複葉頭花は筒状花のみの事もあれば舌状花を有するあり大きい事も小さい事もある瘦果は普通多少線形で扁平或ひは四角先端は微凸か又は刺がある Type は *B. aurea* SHERFF と著者は考へる百十四種これに入る。

#### 第十二節 *Stephia* 新組合

葉は大抵齒牙あり齒牙は上部に剛毛を具ふ小花は筒状にして中部に屢々膨脹した節がある瘦果は通常二刺あり刺には上向のひつかゝりあり Type は *B. chaetodonta* SHERFF. これには十種あつて全部亞弗利加産。

第十三節 *Lesperthema* 新節

内部の總苞片は底部で又は中部まで結合してゐる外の瘦果は縁がはつきりと厚くなつてゐる。Type は *B. phelloptera* SHERFF. で屬するはこれ一種である。

第十四節 *Ebussa* 新節

内部の總苞片は底部で又は内部まで結合してゐる瘦果は早く發育し棍棒狀線形で無翼先端は多少厚く頭狀をなすか幾分ふくれて環狀をなす Type は *B. praecox* SHERFF. で屬するはこれ一種である。

尙タウコギ屬より除かれるべき又は解消すべき節として *Discopoda* DC. 節をコスモス屬の節として新組合せを作り、*Hydrocarpaea* A. GRAY 節を *Megalodonta* GREENE 屬になし *Adenolepis* O. HOFFM. 節を上記の第一節 *Campylothecca* NUTT. にした。(北村四郎)

**ハンデル, マゼツチ氏: 支那植物區系地理要略** (H. HANDEL-MAZZETTI: Die Pflanzengeographische Gliederung und Stellung Chinas, in ENGL. Bot. Jahrb. 64 Bd. s. s. 309—323, 1931.)

尨大なる支那は南北緯度三十度に亙り、北は陝西省の黄土草原より、南は緬甸に近き西雲南の氣候風帶域に擴り、地形氣候共に複雑なり、年平均等溫線の傾斜は $24^{\circ}\text{C}$ に達し、極大極小の差は $40^{\circ}\text{C}$ もあり、之を以て吉林省、蒙古の如き極端の大陸的氣候區より外は海洋的地方と相對す。南東氣候風や南西氣候風は山脈上二千米突まで雨を降し、時に二千五百米突の雲南高原にも降雨すれども之等の山脈中には四千米突の高度に達するものあり。かるが故に全支那を通じて分布する種類の如きは實に僅少にして唯 *Scilla scilloides*, *Commelina communis*, *Trichosanthes Kirilowii* 等數種に過ぎず。支那は又侏羅紀の終以來大なる地質的變動もなく氷河時代さへも主要なる山岳地は南北行の山脈が谷深きを以て植物の小なる移動を見しに過ぎざるべく却て新品の成生をなせしに過ぎざりしならん。今全支那を次の如く八の植物區系帶域に分つべし。

## (第一) 北東支那及朝鮮の混淆林地域。

此地方は滿洲、熱河省、山東省及河北省の東北部を包括し極端なる大陸氣候には非ずして北平に於ける極小溫度は $-28^{\circ}\text{C}$ 、吉林にありては $-40^{\circ}\text{C}$ なり、夏季の等溫線は海南より中支を経て北平、奉天に達し極大溫度 $24^{\circ}\text{C}$ に達するも海岸地方は尙之より遙に溫和なり、雨量は449—6.2 耗あり。滿洲草原地方を除き他の落葉樹林及び針葉樹林の要素は皆歐洲及び西比利亞と共通屬にして、特有植物は朝鮮及